

「安心・活力・発展プラン2005」 第3回発展部会 委員発言要旨

日時:平成27年1月13日(火)13:30~15:30

場所:トキハ開館5階「カトリアの間」

No.	項目	発言要旨
1	教育	点数だけが学力ではないと言われるが、小学校の義務教育については、点数＝学力の認識はあっていい。
2		教育の芽だしは幼児教育。それが小学校にもつながっていく。
3		大学では問題発見・解決能力を含む基礎学力を測るテストがあり、テスト結果は就職先検討等に使用されている。これからの大学の授業は、「学生が自分たちで考え能動的に学習させるようにしなさい」と言われているが、小・中・高という縦軸で能力を継続的に高める取組も必要。
4		子供・学生の基礎学力は二極化しており、そのギャップをどのようにして埋めていくかが課題。
5		グローバル人材の育成について、語学力だけでなく、様々な経験・知識・興味を持たせるという視点が必要。
6		グローバル人材について、NPO等地域コミュニティを使って教育し、その人材を発展に結びつけることが教育の分野でもできないか。
7		人材育成について、世界だけでなく地域へチャレンジするという視点も必要ではないか。
8		いじめや不登校については、全くなくすというよりも、学校・地域・家庭が一緒になって対応・解決するという環境をつくるのが大事ではないか。
9		学級担任について、子供や保護者とのコミュニケーション等を考慮すると、正規・非正規ではなく、3年程度の実務経験などを経て担任になれるような制度があるといい。
10		「青少年を育てる地域・家庭づくり」と「コミュニティの協働による家庭教育支援の推進」の取組について、互いに連携・協働して施策の効果を高めていって欲しい。
11		公民館・図書館を活用し、地域で子供、ひきこもり等の弱者を支えるシステムをつくっていただきたい。

No.	項目	発言要旨
12	教育	地域の自治活動などに関わらないまま成長する青少年が多い。地域を担う人材を育成するためには、自らの地域のことは自らで決めて行動し責任を取るという意識を醸成するため、学校、家庭、地域活動・社会体験を通じて学ばせていくことが必要。
13	芸術文化	県内に増えている芸術家同士のネットワークづくりが重要。
14		文化財・伝統文化の保存について、基盤となるコミュニティが厳しい状況になっているため、地域の伝統文化に新しい切り口を追加し、どのように残していくか能動的に考えていくべき。
15		伝統文化の保存・活用をグローバルという視点で捉えてもいいのではないか。
16		県内各地の伝統文化に興味を持って学べる機会が必要。
17		現代アート・アーティスト・文化が注目を浴びている中、地域の歴史や文化財の情報発信もできればと考えている。
18	スポーツ	総合型地域スポーツクラブの創設・育成を、強力に推進していただきたい。
19		スポーツによる地域活性化に関して、県の文化振興基本方針の中で充実させる必要があり、そのことが今後の国際大会誘致においても有利に働くと考えられる。
20		地方版総合戦略の中で、地域スポーツコミッションをしっかり位置づけて欲しい。
21		国際大会誘致も大変だが誘致後に成功に導くことが大事であり、そのためにも国際的な大会等に大分県として積極的に関与していくべき。
22	県民活動	青少年の問題解決能力の低下等に対応するため、世代を越えて様々な社会活動に参加することが当たり前になる仕組みづくりが必要ではないか。
23	交通	県外の旅客だけでなく、今後の超高齢化社会において、県民が円滑に移動できる環境を整備していくことが重要。
24		大分市でイベント・コンサート等が21時に終わると福岡に帰る交通手段がなく、県内でも姫島の人にはフェリーに間に合わないの、JR、バス等の整備について、行政からもアプローチをお願いしたい。

No.	項目	発言要旨
25	情報通信	ITの整備と同時に、使用する技術を向上させていくことも重要。大分県には多くのコンテンツがあり、3Dプリンタ等でデジタルデータとしてアーカイブ化し、大分の文化を発信することに活用してはどうか。
26		Wi-Fiの整備が進むなかで、訪れた外国人が大分の良さを母国に向けて発信してくれることに期待したい。
27	地域づくり	各地域の問題をその地域でどのように解決していくか重要で、ネットワークコミュニティの考え方は文化の面でも必要な視点。
28	ツーリズム	ツーリズムの柱の中に、芸術文化と観光の一体的推進というテーマを掲げて欲しい。
29	海外活力・人材	外部からグローバル人材を招き化学反応が起きるような仕組み、大分がアジアにおける人材のハブとなるような施策ができないか。大分から出て行くだけでなく様々な分野の面白い人材を呼び込み、その人たちが起業して、地元の若い人に刺激を与えるようになっていくといい。
30	計画全体	創造性という考え方を、発展分野だけでなく安心・活力も貫く基本構想に位置づけて欲しい。
31		素晴らしい絵画やスポーツを見ることで、子供達は刺激を受け、多様な価値観を育むことができる。30年後、今の子供達がどう受け止めるのかを念頭に置いて、計画を策定していただきたい。